

4 観光

	タイトル	意見等
1	たぬき祭りや徳島のイベントを子どもたちも楽しめるようにして欲しい	<p>我が子は阿波踊りが大好きです。 今回初めてたぬき祭りに参加致しました。 配置の問題なのか、立ち見が主なため、阿波踊りが全く見えず悲しい思いをさせました。車椅子の方、小さい子連れの方達もほとんどの方が見えず、後ろの方ではたくさん子ども達がぐずって、見えないため親も諦めて、帰られる方もおりました。 私どもも、せっかく足を運び阿波踊りを見に行きましたが、親は手は見えるが子ども達は見えず、抱っこしても肩車しても見えず、諦めて早々に帰りました。後ろの方に下がっても同じでした。 どこに行っても見えません。 県外からわざわざ来られた方達も残念だったと思います。 誰もが見えるように、舞台をもっと上に配置する、あい場浜公園は斜めになってると思うので、下がってる側を舞台にする、座ってもらうように声かけ行う、子ども達や障害がある方優先席を作る等、できることはあると思います。 もう少し、誰もが楽しめるように運営、配置して欲しいと思います。</p>
2	修学旅行生を徳島県へ誘致	<p>昨今、修学旅行といえば「京都」という概念が崩れています。 京都には外国人の観光客があふれ、ホテルには予約が取れず、市内観光をするにもバスには乗れず、乗れても渋滞で進めず、タクシーを呼ぶにはお金が足りず…と、学校現場では追加費用も保護者にお願いできずに取りやめる学校も出ています。 そこで、「徳島」への「修学旅行誘致」を検討してはどうかと考えます。 移動は航空機か高速バス。1日目 - 鳴門観潮船～大鳴門橋～大塚美術館 2日目 - 阿波十郎べえ屋敷～阿波踊り会館～眉山 3日目 - 藍染体験 のようなコースが一般的かと思いますが、2日目以降の宿泊地を県西部に変え、うだつの町並み～大歩危小歩危～かずら橋とし、最終日に航空機利用なら高松空港から帰るルートも考えられます。 夏場の阿波踊りやマチアソビでの観光客誘致の上に、季節を超えた団体集客が可能かと考えます。</p>
3	DMVのこと	<p>最近DMVは故障続きで予備車両無し、控えの運転手は確保していない、当然金も無い、しかも重大な不具合が発生した場合には自前での修理ができない体制とあっては迅速なトラブル対応はできない、利用客（主に観光客と推測する）に多大なる迷惑をかけるのみではないか。リピー特を望むのは無理と思う。また利益の創出はほぼ不可能。であればいい加減に存続の可否についての判断をするタイミングではないだろうか？かつてニュータウン等に構築した新交通システムも利用者不足、機材の老朽化、道路整備の進行等によって廃止が進んでいる（広島市スカイレール、小牧市AGT）。</p>